

「身近な課題を主体的・協同的に解決していく」授業

「川の水は冷たくて気持ちよかった」「川にはカニや小さな魚がいたよ」「でも、空き缶やビニールのごみが落ちていたよ」川に対して持っていたイメージと現実の姿とのずれから、環境問題に意識を向けて子どもが疑問を抱き始めました。

いつも何気なく見ていた川でも、そこに繰り返し関わることで、川に対する見方や考え方が大きく変わっていきます。目の前を流れる川には、多くの命があることに気づき、自らの生活や暮らしを見直そうという気持ちが生れます。

総合的な学習の時間では、子どもが学習対象との関わりの中で課題を見出し、その課題を、友達と協同しながら解決していく学びの過程、つまり、探究的で協同的な学習活動を充実していくことが大切です。総合的な学習の時間における探究的な学習とは、「①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現」という一連の学習過程です。問題解決的な活動を発展的に繰り返していく過程で、子どもが自らの学びを実感するようになります。

■ ポイント1

意図的な体験活動を通して、主体的な学びにつながる課題を設定する

探究的な学習になるかどうかは、課題の設定に大きく左右されます。学習対象に直接触れる自然体験や社会体験を通して、子どもが「なぜ?」「自分の予想と違う」といった思考のずれを感じたり、「あこがれ」や「可能性」を感じたりすることは、「やってみよう!」「解決したい!」「調べてみたい!」と主体的に学習に取り組む原動力となります。

そのために、教師は子どもの実態や地域環境等を把握した上で、子どもと学習対象との出会わせ方を工夫します。その際、子どもにどのようなことを学ばせたいのか、どのような資質・能力を身に付けさせたいのかを明確にしながら、学習の計画を立てます。

意図的な体験活動から出発し、子どもの中から学習対象に対する問題意識や意欲を引き出すことによって、その後の活動が探究的になり、実社会や実生活で生きて働く資質・能力が育まれます。

■ ポイント2

各教科等での学びと関連付けることで、応用が利く力に育てる

総合的な学習の時間では、各教科等で身に付けた知識や教科固有の思考力・判断力・表現力等が、様々な活動の中で発揮されるようにすることが大切です。

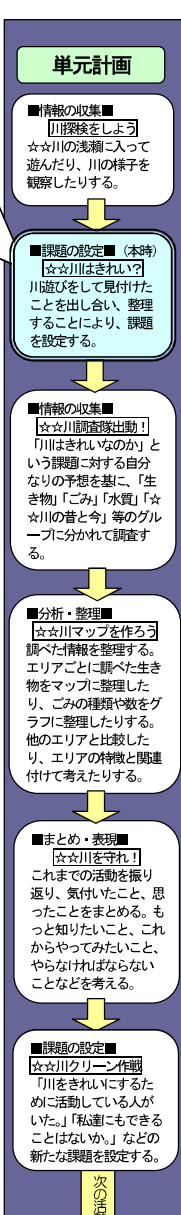
例えば、地域の川を題材とした場合に発揮してほしい力としては、「飲み水やごみなどの問題について観察や資料を活用して調べる力(社会)」「グラフや表に整理して考える力(算数)」「生き物に関する知識を活用したり、比較しながら調べたりする力(理科)」「インタビューで意図を捉えながら聞いたり要点をメモしたりする力(国語)」「調べたことを図表やグラフを用いて分かりやすく伝える力(国語)」等が挙げられます。

各教科等で培った力を発揮する場を設定することにより、子どもは学習していることと、実社会や実生活とのつながりを感じ、子どもの中に生きて働く力が養われていきます。また、総合的な学習の時間で養われた力が、各教科等の学習に還元されることで、それらの力が子どもの中で統合され、一体となって働くようになります。

■ 実践事例(小学校4年生)

小単元名 「私たちの☆☆川を知ろう!」
 本時の目標 川探検をして気付いたことなどを出し合い、整理することにより、川の現状を詳しく探っていくための解決方法や手順を考え、調査活動計画を立てることができる。

	学習活動	留意点 ※評価
つかむ	○川探検をしてどのようなことに気付いたかな? ・釣りをしている人がいた。 ・洗剤のあわのようなものがあつた。 ・ぬるぬるした緑色のこけがあつた。 ・花が咲いていた。 ・川の水は冷たくて気持ちよかった。でも、水は澄んでいなかった。 ・カニや小さな魚がいた。でも、空き缶やビニールのごみがあつた。	・留意点 実際の川の様子をビデオや写真で提示することで、体験したことを想起しやすくします。
深める	○私たちの☆☆川は、きれいな川なのかな? ・水がすき通っていたから。 ・水がにごっているところがあつたから。 ・カニやザリガニなどの生き物がいるから。 ・排水が流れ込んでいたから ・きれいな花が咲いていたから。 ・空き缶やタバコのごみが落ちていたから。 ・ホタルが見られるから。	・留意点 川探検で気付いたことを基に話し合う中で、もっと情報が必要だという思いを引き出します。
	・きれいなところもあるし、きれいではないところもあるから。 ・1回行っただけだから、もっと色々調べてみたいとわからない。	・留意点 出てきた考えを、KJ法等の思考ツールを使って整理することにより、課題を焦点化していきます。
	○私たちの☆☆川について、どんなことを詳しく調べていいたら「きれいな川」か「きれいではない川」かがはっきりしそうかな。 生き物 ・どんな生き物が住んでいるのか調べてみたい。 ・場所によって生き物が違うかもしれない。 ・カニやメダカはきれいな水と関係があるかも。	・留意点 グループで今後の調査活動計画を話し合う。困っている班には調査方法を助言する。 ※調査活動に向けた課題と計画を立てている。
	・どこに、どんなごみが、どれだけあつたのか調べてみたい。 ・ごみがあるままあつると、川はどうなるのかな。 ・川のごみを片づける人はいるのかな。	
	水 ・水道の水との違いを調べてみたい。 ・上流と下流で水のきれいさに違いがあると思う。 ・☆☆川はどんな役に立っているのかな。	昔と今 ・昔は川で泳いでいたって聞いたよ。なぜなのかな、理由が知りたいな。 ・昔と比べてホタルが見られなくなったから、地域の人が育てているって聞いたよ。
つなげる	○まず、何について解決していくのか今後の活動計画を立てよう。 生き物 ・生き物調べをする。 ・上流と下流で見られる生き物に違いがあるのかをはっきりさせたい。	・留意点 振り返りの場を設定し、学習したことを子ども自身が自覚できるようにします。
	水 ・川の水をとってきて、水道の水と比べる。 ・川と水道で水の違いがあるのかをはっきりさせたい。	
	昔と今 ・☆☆川の昔の様子が分かる写真や資料を集める。 ・今の川の様子と違うところをはっきりさせたい。	
	○今日の授業を振り返って、☆☆川について知ったことや考えたことを書く。 ・私は、川の水は冷たくて気持ちよくなったからきれいかなと思っていました。でも、友達の見聞聞いて、もっといろいろ調べてみたい、はっきりしないなと思いました。私のグループは生き物調べをしていきます。私たちの☆☆川がきれいで、生き物にとって住みやすい川だと思いました。	



「自分、他者、社会に関わる課題を主体的・協同的に解決していく」授業

「働くとはどういうことだろう?」「何のために働くのだろう。やりがいは何かな?」「働く上で大切な力ってどういうものだろう?」職場体験学習前、「働く」ということについて真剣に考えている子どもの声があります。

義務教育の最終段階にある中学生にとって、職業や自己の将来に関わる課題は切実かつ現実的な課題であり、総合的な学習の時間の学習内容として多くの学校が取り上げています。子どもが自己の生き方について考えるようになることが重要だからです。

体験活動や調査活動、仲間との真剣な話し合いなど、学び合う機会を持つことは、子どもが自己の生き方を考えることにもつながっていきます。このことは、自己の将来を力強く、着実に切り開いていこうとする資質・能力の育成において重要です。

総合的な学習の時間に付ける資質・能力は、キャリア教育で培う資質・能力と密接に関係しています。各学校においては、総合的な学習の時間とキャリア教育との関連を明確にして教育課程を編成し、探究的な活動になるよう計画していくことが大切です。

ポイント 1

意図的な体験活動を通して、主体的な学びにつながる課題を設定する

探究的な学習になるかどうかは、課題の設定に大きく左右されます。職場体験に向けた事前学習で、「働く」ということに対して子どもが自分のイメージとの「ずれ」を感じたり、「あこがれ」や「可能性」を感じたりすることは、「働く人から学びたい」という主体的に学習に取り組む原動力となります。

そのために、教師は、子どもの実態、地域環境や地元の産業などを把握した上で、子どもと学習対象との出会わせ方を工夫します。その際、子どもにどのような資質・能力を身に付けさせたいのかを明確にしながら、学習の計画を立てます。そして、意図的な体験活動から出発し、子どもの中から学習対象に対する問題意識や意欲を引き出すことによって、その後の活動が探究的になり、実社会や実生活で生きて働く資質・能力を育むことにつながります。

ポイント 2

キャリア教育の視点で学校と社会をつなぐ

職場体験学習の中で、子どもは実際に仕事をしている人と接し、働く上で大切なこととはどのようなことであるかを学校での学びと関連付けながら考えます。大人の中に混ざって働くことを体験する中で職業内容を知り、働く世界を経験します。大変さ・厳しさ、それを乗り越えた楽しさ・喜びについて感じたり考えたりします。

キャリア教育は、学校生活と社会生活をつなぎ、将来の夢と学業を結び付けることにより、子どもの学習意欲を喚起することができます。現在、自分が勉強していることと、将来、自分が巣立っていく社会との関係を子どもが見出し、自分が勉強している理由やその重要性を理解するようになります。

例えば、働く上でコミュニケーション能力が大切だという話を聞いたり、大人が様々な人と関わながら仕事をしている姿を見たりする中で、子どもは学校での学びと職業での学びをつなげます。学校で行っているグループの話し合いなど、みんなで考えて答えを出したり、創り出したりすることの大切さを実感します。

中学生にとって、働くことや職業を自分との関わりで考えること、自己の将来を展望しようとする、自己の生き方を考えることは大変重要です。

実践事例(中学校2年生)

小単元名 「考えよう『働く』ということ」

本時の目標

観光地である〇〇市を代表する職業に就いている人の話を聴いて感じたことを出し合い、整理することにより、職場体験学習に向けた自己課題を明らかにする。

	学習活動	留意点 ☆評価						
つかむ	<p>〇旅館で働く〇〇さんの話を聴いて分かったこと、感じたことをグループで出し合おう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分かったこと</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>選んだ理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と接するのが好き 旅行が好き 人に喜んでもらえる </td> <td> <p>身に付けておくとよいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション能力 マナー 幅広い知識 外国語 体力 特技、趣味などで自分らしさを磨く </td> </tr> <tr> <td> <p>苦勞</p> <ul style="list-style-type: none"> 立ち仕事が多くて体力勝負 外国からのお客様への対応 クレームへの対応 </td> <td> <p>やりがい</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様からの「ありがとう」 色々なお客様との出会い 自分の接客をほめてもらった時 </td> </tr> <tr> <td> <p>心掛けていること</p> <ul style="list-style-type: none"> 笑顔やあいさつ お客様目線で考える 一生懸命にやる </td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>感じたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 働いていて大変だな 働いていて嫌なことはないのかな 職場体験まで何かに準備しなくちゃいけないのかな お客様とどううまくコミュニケーションをとれるか不安 	<p>選んだ理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と接するのが好き 旅行が好き 人に喜んでもらえる 	<p>身に付けておくとよいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション能力 マナー 幅広い知識 外国語 体力 特技、趣味などで自分らしさを磨く 	<p>苦勞</p> <ul style="list-style-type: none"> 立ち仕事が多くて体力勝負 外国からのお客様への対応 クレームへの対応 	<p>やりがい</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様からの「ありがとう」 色々なお客様との出会い 自分の接客をほめてもらった時 	<p>心掛けていること</p> <ul style="list-style-type: none"> 笑顔やあいさつ お客様目線で考える 一生懸命にやる 		<p>・留意点 ☆評価</p> <ul style="list-style-type: none"> グループになり、出てきた意見を分類・整理する。
<p>選んだ理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と接するのが好き 旅行が好き 人に喜んでもらえる 	<p>身に付けておくとよいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション能力 マナー 幅広い知識 外国語 体力 特技、趣味などで自分らしさを磨く 							
<p>苦勞</p> <ul style="list-style-type: none"> 立ち仕事が多くて体力勝負 外国からのお客様への対応 クレームへの対応 	<p>やりがい</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様からの「ありがとう」 色々なお客様との出会い 自分の接客をほめてもらった時 							
<p>心掛けていること</p> <ul style="list-style-type: none"> 笑顔やあいさつ お客様目線で考える 一生懸命にやる 								
深める	<p>〇職場体験に向けた自己課題を考え、グループ内で発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、職場体験を通して、漁協で働く人が仕事をする上で大切にしていることを学びたい。 理由: 旅館で働く〇〇さんは、接客をする上であいさつや笑顔を大切にしていることが分かった。仕事の種類によって、大切にしていることはそれぞれ違うと思うので、漁協で働く人はどんなことを大切にしながら仕事をしているのか学びたいと思ったから。 私は、職場体験を通して、和菓子屋で働く人にとっての働く喜びは何かを学びたい。 理由: 旅館で働く〇〇さんにとって、お客様からの「ありがとう」の言葉が働く喜びであり、仕事のやりがいを感じる時であることが分かった。和菓子屋で働く人は、どんなことに働く喜びを感じながら仕事をしているのか学びたいと思ったから。 	<p>・留意点 ☆評価</p> <ul style="list-style-type: none"> グループになり、出てきた意見を分類・整理する。 						
つなげる	<p>〇次の時間からは、自己課題を追究できるように、訪問の計画を立てよう。</p>	<p>・留意点 ☆評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表する際は、模造紙に書かれたこととつながって話す。 						

模造紙に付箋を出し合い、意見を分類・整理することで、情報が視覚化されます。

分類・整理したものをしながらグループでお互いの意見を交流することで、多面的・多角的に考えることができます。

振り返りの場を設定し、子ども自身が自己の考えの深まりを自覚できるようにします。

☆職場体験に向けた自己課題を設定している。

単元計画

■オリエンテーション■

職業学習とは?

昨年度の様子を写真等で見ながら、単元目標や全体の流れを確認する。学校以外の「社会」を学習する中で、一人一人が働くということの意味を考え、自己の生き方や将来を展望することが目標であることを知る。「働く」ということに対する思いを挙げる。

■情報の収集■

〇〇市の職業調べ

身近な職業について、「乗り物」「食べ物」「ファッション」など分野ごとに関連する職業を挙げていく。

■整理・分析■

〇〇市を代表する職業

職業調べをしたものの中から、〇〇市を代表する職業を整理する。

■まとめ・表現■

〇〇市を代表する職業

〇〇市を代表する職業について発表する。

■情報の収集■

先輩から学ぶ

身近で働く卒業生の話を聞く。特に、どんな思いで仕事をしているのかという点に着目しながら聞く。

■課題の設定■(本時)

職場体験学習に向けた

身近で働く卒業生の話を聞いて感じたことを出し合い、整理することにより、体験学習に向けた自己課題を明らかにする。

■情報の収集■

事前学習

資料を集め、業種についての情報を得る。事前訪問計画を立てる。

次の節